

自ら学び 心豊かに たくましく生きる子

～笑顔 かがやく 岩倉南の子～

の育成に向けて

—具体的な取組を進める中での子どもたちの声と姿—

京都市立岩倉南小学校

これは、子どもたちの普段のノートや日記、キャリアパスポート等から、学校教育目標の実現に向けた重点目標や具体的な取組に関するものを抜き出したものです。子どもたちは、そのようなことを意識せずにノートや日記を書いています。そのため、「子どもたちの声」の内容や量には、学年によるバラつきが見られます。

また、1・2年生の場合、書かれたものから「子どもたちの声」を抜き出すことが難しいため、子どもたちの様子を写真で紹介しています。

以上の点について、ご理解いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

思いやりのある子（徳）

【重点目標】

「自他を大切にする態度」「公共の精神に基づく態度」を育成する

【具体的な取組】

- 人と人とのつながりを大切にできるように、あいさつ（あいてを見て、いつも、さきに、つづけて）を徹底したり、たてわり活動を充実させたりする。
- 支え合い高まり合う集団をつくるために、教師が子どもたち一人一人のよさを的確に「見抜き」「認め」「ほめ」「伸ばす」ようにする。

【子どものたちの声と姿】（一部表記を漢字に変更）

<日記やキャリアパスポートの振り返りから>

- 地域の人に挨拶をするという目標について、この頃、あいさつがてきて嬉しい。前は誰にも挨拶できなかつたけれど、今、挨拶をすると「楽しいな」と思う。（3年）
- 挨拶が楽しくなって、人に会ったらすぐ挨拶するようになった。（3年）
- 地域の人にも挨拶ができた。笑顔で「こんにちは」と言うと、挨拶が返ってきたので嬉しかつた。通学路で工事の人にも挨拶をした。とても気持ちよかつた。（3年）
- 2学期は、立ち番ボランティアの人に笑顔で挨拶したい。（3年）
- 挨拶はいい事だなと思ったので、2学期は、地域の人にも毎日必ず挨拶をする。（3年）
- 自分から挨拶するときもあるけれど、挨拶のとき、声が小さくなるから、声を大きくして挨拶したい。（3年）
- 学校ではできたけれど、地域ではあまりできなかつた。2学期は、勇気を出して挨拶したい。（3年）
- まだ恥ずかしくて、あまりできていない。（4年）
- 近所の人は私に挨拶をしてくれるけれど、自分は挨拶をすることなく通りすぎるとから、自分からできるようにしたい。（4年）
- 近所の人にも自分から挨拶することができたけれど、元気に笑顔ではできなかつたから、元気な声で明るく挨拶をしたい。（4年）
- 地域の方、学校のみんなに挨拶をするという目標について、はじめは緊張して声が小さくて聞こえてなかつたけれど、ちゃんとあいさつができたとき、とてもスッキリした。（5年）
- 挨拶ができると気持ちがよかつたので、これから、もっといろんな人に挨拶をしたいと思った。（5年）
- 自分から挨拶はできても、声が小さかったりするので、もっと大きな声であいさつをするようにする。（5年）

- 恥ずかしがらずに挨拶したかったけど、自分から進んで挨拶できなかつた。(5年)
- 教室に入った時に、「おはよう」と言つたらほとんどの人が返してくれた。挨拶は返事をしてくれなくとも気持ちがよくなることだと思った。でも、やっぱり返してほしいとも思った。挨拶はコミュニケーションをとれるものだと思うし、元気よくみんなに挨拶したら、いつかは返してくれると思うので、続けたい。(6年)
- 2学期は、トイレのスリッパを揃えるなど、みんなの物も整理整頓したい。(3年)
- 係で役に立ててうれしかつた。今度はもっと頑張りたい。(3年)
- 係活動は、少しだけみんなの役に立てたような気がして嬉しかつた。(3年)
- 「～できるからまかせて！」と言うと、友だちが「じゃあおねがい！」と言ってくれて嬉しかつた。(4年)

< 2年生と交流した1年生の振り返りから >

- 2年生が優しくしてくれたよ。遊び商店街、楽しかつたな。2年生、ありがとうございました。
- 遊び商店街は、6時間遊びたいくらい楽しかつたです。2年生は、とても優しかつたです。
- 私も2年生になつたら、次の1年生にああやつて優しくしてあげたいです。乐しかつたです。
- 遊び商店街は、いろいろなおもちゃがありました。すごく丁寧に作つてあってすごかったです。ありがとうございました。
- 遊び商店街は、最初「ようこそ」って言ってくれた時から、楽しいなと思っていた。

< 2年生 生活科「あそんで ためして くふうして」の1年生と交流する様子 >



自ら進んで学ぶ子（知）

【重点目標】

学習意欲を高める授業を通して、自ら学びに向かう力を育てる

【具体的な取組】

- 教師主体から子ども主体の授業へと転換するために、子ども同士で教え合う時間、子どもに任せる時間を保障する。
- 習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身に付けることができるよう、問題解決的な学習や探究活動の充実を図る。

【子どもたちの声と姿】（一部表記を漢字に変更）

＜1年生 算数科「おおきさくらべ」での子どもたちの様子＞



入れ物に入る水のかさを比べました。

- ・他の道具を使わないので二つの容器でどちらがたくさん水が入るかを比べる
- ・他の道具を使ってもよいが、三つの容器全部に入った水のかさを比べる
- ・二つの容器に入った水のかさは、どちらがどれだけ多いかを比べる

というそれぞれの課題を調べる方法を、みんなで考えながら確かめていきました。

「こうしたらどうかな。」「ああー、そっか。」「なんか違うと思う。」・・・

試行錯誤の上、比べる方法を子どもたちが見つけ出して、家から持ってきた容器を使ってかさ比べをしました。

活動の後、教室は水でベチャベチャになりましたが、子どもたちは自分たちで拭いて、後片付けもしっかりできました。（1年生担任）

<1年生 算数科「おおきさくらべ」での子どもたちの様子>



長さや水のかさを比べる活動を行いました。

長さを比べるためのコツ ①端を揃える ②ぴんと伸ばす ③比べるところを重ねる を使って、鉛筆や教科書、机や棚など、教室にあるものの長さをたくさん比べました。

水のかさ比べでは、様々な条件でどうしたら水のかさを比べられるか、みんなで頭を悩ませました。

「違う容器に入れ替えてみたらどうかな?」「大きさが違うと、正しく調べられないよ。」と、意見を出し合って良い方法を考え出す子どもたちの姿が見られました。

少し覚悟はしていましたが、案の定、教室の中は水浸し。でも、自分たちの雑巾で黙々と片付けている子どもたちの姿を見ていると、自分たちで考えて行動できることが、様々な場面で見られるようになってきて、とても嬉しく思っています。

(1年生担任)

<2年生の学習の振り返りから>

- (生活科「あそんで ためして くふうして」の学習で) 1年生に「この遊び楽しいね」と言ってもらえてとても嬉しかった。また、何かつくる時があったら、一年生に見せてあげたい。最初はステージ1しかなかったけれど、ステージをどんどん増やしていくごとにお客さんが増えていった。
- (生活科「あそんで ためして くふうして」の学習で) いっぱい1年生が来てくれて、何回も「楽しい」「おもしろい」と言っていて、とても嬉しかった。最初は紙を折ったりしなかった。でも、思いついて紙を折ったり当たりの音をつくったりした。
- (生活科「あそんで ためして くふうして」の学習で) 1年生がいっぱい来てくれた時は大変だったけれど、一年生の中にが「この玉入れ、難しくても楽しい」と言っている子もいて、とても嬉しかった。遊びを作っている時は、すぐに芯が折れたりするので、硬い芯に変えたり、二人で協力して頑張って作った。それくらい大変でも一年生に喜んでもらえると思うと、すごく嬉しくなった。

□ (生活科「あそんで ためして くふうして」の学習で) 最初は1年生が来ることにどきどきしていたけれど、〇〇さんと一生懸命作ったから、1年生にも喜んでもらえると思ったので安心した。1年生が「楽しいな」と言ってくれて嬉しかった。

□ (生活科「あそんで ためして くふうして」の学習で) 遊び商店街をして、1年生が「楽しい」と言ってくれたのがとても嬉しかった。前から一生懸命作ったので、遊んでもらって嬉しかった。

<2年生 生活科「あそんで ためして くふうして」での子どもたちの様子>



<2年生 生活科「あそんで ためして くふうして」の1年生と交流する様子>



< 3年生の学習の振り返りから >

- (国語科「もっと知りたい友だちのこと」で) みんなの話を聞いて「いきたい」「すごい」と思った。質問をするともっともっと知らないことがわかるので楽しい。
- (国語科「もっと知りたい友だちのこと」で) 質問をされるのがたのしみで、みんなの知らせたいことを聞くのも楽しみ。
- (国語科の物語文の学習で) 感想を読み合って、最初はどきどきしたけれど、話してみたら、拍手が届いたからとてもうれしかった。また、今度、伝え合いたいと思った。
- (国語科の物語文の学習で) 感想を読み合って、いろいろな人の好きな場面を知る事ができて、友だちのことがもっと詳しくなれた気がした。
- (国語科の物語文の学習で) 感想を読み合って、みんなと違うところ、似ているところを話し合えて本当に楽しかったです。私が考えてもみなかつたことを書いている友だちもいて、すごいなと思いました。
- (国語科の詩の学習で) 友だちに自分の好きな言葉を伝えられたから、嬉しかった。また、友だちの好きな言葉を聞くことができて、嬉しかった。
- (国語科「ポスターを読もう」の学習で) 今日は、○○さんと一緒にできて楽しかった。もっと勉強して○○さんと話したかったです。
- (国語科「ポスターを読もう」の学習で) みんなすばらしいと思った。理由は、一人一人意見を考えていて、同じでも自分の意見として言うからだ。
- (国語科の詩の学習で) みんなの好きなところが聞けたし、感想も聞けたので、もっと他の人の感想も聞いてみたい。
- (社会科の学習で) 今日は「市の中」みたいに少し大胆だったけれど、「何区に何がある」みたいな学習もしてみたい。
- (社会科「商店の働き」の学習で) スーパーマーケットによって値段が違ったりして、面白いのでもっと調べてみたいと思った。
- (社会科「商店の働き」の学習で) 違うお店でも同じ物が同じ値段で売っていることを知って、びっくりした。一つのお店で、例えば鮭でも、なぜ値段が違うのかなどを調べてみたい。

< 4年生の学習の振り返りから >

- (算数科の学習で) みんなで勉強したら何でもできると思った。みんなに助けてもらうこともあるかもしれないけれど、ぼくもできるならみんなを助けたい。(4年)
- (算数科の学習で) 「誰一人困っている人がいないように」と思って、みんなで残らず教えることができて嬉しかった。(4年)
- (算数科の学習で) みんながちゃんとわかるように、教えにいくことをがんばった。今日○○さんに教えたら、○○さんも人に教えられるようになった。うれしい。

- (算数科の学習で) がんばりたいことは、「全員が分かるようにする」だ。なぜなら、一人が分からぬままだと、みんなについていけなくなると思うし、毎回の学習で、ちゃんと理解しないと、(学び合いを) やっている意味がないと思うからだ。今日は、まあまあ、目標を達成できた。でも、他の人とは関われなかつたので、次はいろいろな人と関わりたい。
- わたしは、(算数で) 自分が教えるようになった。うまく伝わったときは、とってもうれしい。これからもがんばりたい。
- 1学期の時よりも、みんなに「分かる?」「いっしょにやろ!」と声をかけられるようになった。たくさんの人の説明の仕方が聞けるし、分からないことも、たくさん的人が教えてくれて、助け合ひって大事なんだなど、あらためて感じた。1学期から一度も話しかけていない、○○さんや○○さんには、自分からがんばって話しかけたいなと思った。
- (社会科の学習で) 今日はじめて「くらしとゴミ」という単元に入ったけれど、「くらしと水」の単元が面白かったんで、「くらしとゴミ」も面白いと思う。
- (社会科の学習で) 「くらしと水」の学習の中で何が家の水になっているのか、気になる。琵琶湖の水が、どのようにしてきれいな水道水になるのか、気になる。
- (社会科の学習で) 一番楽しかったのは、どうやったら水が飲めるようになるか、自分でやってみたことだ。水は飲めなかつたけれど、いろいろなやり方を試して実験したので、ものすごく楽しかった。
- (社会科の学習で) 意外と面白い。水のことを調べていたら、楽しくなってきた。

< 5年生の振り返りから >

- (国語科の説明文の学習で) どこがどうなどと、友だちから細かく教えてもらい修正することができた。また、班で協力して教え合うことができた。(5年)
- (国語科の学習で) 理由がなかなか思いつかなかつたけれど、相手が意見を言うと反論がどんどん思いついて、たくさん対話に参加できた。(5年)
- (国語科の「きいてきいてきいてみよう」の) 学習を振り返って、「まとめの文章を書くときに、○○さんってこんなことをしているんだ」と、いろいろな人のことがわかつた。(5年)
- (過去か未来かどちらを選ぶかという対話を通して) 最初は、過去派になって、「未来の方が好きなのに」と思ったけれど、やっていくうちに、「過去にもいいことがたくさんある」と思うようになってきた。対話だけで、嫌いだったものが好きになつたのは、すごいと思った。(5年)
- (算数科の面積の学習で) 直角三角形は長方形や正方形に変えたり増やしたりして面積を求められるということがわかつた。他の三角形も同じように求められるのかなと思った。(5年)
- (算数科の公倍数の学習で) 考え方も分からなかつたけれど、○○さんや○○さんなど、みんなの考え方を聞いて分かつた。(5年)

- (算数科の面積の学習で) 今回は、みんなに説明などができるくてすごく嬉しかった。(5年)

< 6年生の振り返りから >

- みんなが意見を聞いてくれるので、少しずつ手を挙げられるようになった。(6年)
- 班交流での説明が少し上達した。(6年)
- 社会科の学習に楽しく取り組めるようになって社会科が好きになった。(6年)
- 分かることが増えたので楽しくなってきた(6年)
- 友だちと意見を交換し合い、織田信長がいたから豊臣秀吉は天下統一ができたということから、歴史は一つ崩れてしまうと、天下統一ができなかつたりするので(一つ一つが)大事だなと思った。誰かがそれを行うことによって、いろいろなことが組み立っているということを改めて感じた。(6年)
- この時代の大名は、天下統一のために命をかけていたことが分かった。信長は戦いを重視していて、秀吉は平和な国にするためなど、それぞれ違う考え方で天下統一を目指していてすごい！と思った。また、みんなの考え方も違っていて、違う意見でも納得することが多かった。(6年)
- 能や狂言、水墨画など聞き覚えのある文化は、たくさんの人の努力によって今も受け継がれているということを感じた。このことを踏まえて、もう一度ふれていくと、改めて歴史の奥深さが体感できると思った。(6年)
- 室町時代から今まで受け継がれているということは、この間の時代にも狂言、能などを広めている人がいると思う。また、物としてうちわやふすまなど受け継がれているから、それぞれの時代にその職人がいると思う。他にも今に受け継がれているもので室町時代にできたものを調べてみたい。(6年)
- 室町時代の文化で、今にも伝えられてきたものは、たくさんの人の支えや努力などがあって伝えられたものだということが分かったので、私たちも、その文化を大切にしてまたこれから時代に受け継いでいくことがいいんだと思った。また、そのような日本の文化に、自分が親しんでいくことも大切だと思った。(6年)
- 分数同士に同じ数をかけても分数の大きさは同じというところから関連して、比を表すのが面白かった。醤油にも書いてあったように、生活の中で比や割合は欠かせないものなんだなと思った。(6年)
- (算数科の学習で) 今まででは、どこが分からぬのか、どこを分かっているのか、自分でも分からなかつたけれど、今日、友だちと問題を出し合って、すき間のある円柱の体積の求め方が自分は苦手だということが分かった。これから、自分の苦手な所を見つけるためには、友だちと交流しないといけないことが分かった。自分の苦手な所を予習したいと思う。(6年)